

情報学委員会
サイバー・フィジカル環境における生存情報学検討分科会
(26期・第9回)

議 事 要 旨

1. 日 時 令和7年9月25日(木) 20:00-21:05
2. 会 場 オンライン会議 (ZOOM)
3. 参加者：内田 誠一、大場 みち子、永井 由佳里、大倉 典子、加藤 由花、木村 朝子、佐藤 洋一、庄司 裕子、椿 美智子、中小路 久美代、中野 有紀子、灘本 明代、橋本 隆子、長谷山 美紀、平田 貞代、宮崎 久美子、八木 康史、山下 直美、土井美和子(19名)
欠席：相澤 清晴、荒川 薫、井上 美智子、大柴 小枝子、加藤 ジェーン、河 邊 隆寛、後藤 真孝、長田 典子、西野 恒、横尾 真 (10名)
4. 議 題
 - (1) 京都大学大学院 情報学研究科 社会情報学専攻 教授 山下直美先生ご講演
テーマ：「人と人のつながりを深化させる情報技術のデザイン」
 - (2) 今後の予定
5. 議 事
 - (1) 京都大学大学院 山下直美先生ご講演
山下直美先生より、多様性の受け入れ、人を孤立化させないICTのデザインについて、メンタルヘルスケアに対するICT支援としての研究事例、と介護を受ける人と介護者の間のコミュニケーションを仲介するチャットボットを同設計するか？についての研究事例のご講演をいただき、その後これらの事例についてのディスカッションを行うと共に、現状のHuman Interactionの研究についての活発なディスカッションを行った。
 - (2) 今後の予定
今後は11月にお一方の先生方のご講演をいただき、その後2月か3月に生存情報学について考えてゆくハイブリッドな会議を開催する予定である。
6. 配布資料
なし